

RI第2620地区 静岡第2グループ

## 沼津柿田川ロータリークラブ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI会長 シェカール・メータ  
 RI第2620地区ガバナー 小林 總一郎  
 会長 安本 晋  
 幹事 齋藤 悦生  
 例会日時 毎週水曜日 点鐘12:30  
 例会場 沼津卸商社センター 2F  
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203  
 TEL 055-971-6500  
 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方  
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322  
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

## 会長挨拶

第1815回例会 会長挨拶

会長 安本 晋

先日のニュースをご紹介したいと思います。

覚せい剤取締法違反容疑などで逮捕され、その後嫌疑不十分で不起訴となったブラジル国籍の夫婦＝静岡県＝が、静岡新聞に自宅住所の地番まで報道され、プライバシーを侵害されたとして、静岡新聞社に計660万円の損害賠償などを求めた訴訟の控訴審判決が18日、東京高裁でありました。高等裁判所は、66万円の支払いを命じた一審静岡地裁判決を取り消し、夫婦側の請求を棄却した、というものでした。

裁判所は、逮捕された容疑者を特定して報道する場合、地番を公表することが一律に許されないという社会通念はない。と判断したとのこと。少し乱暴に省略してしまえば、犯罪を犯したと疑われた人については、名前と住所、地番まで報道されても文句は言えない、と判断したことになります。

犯罪をした人にもプライバシーの権利はあるので、勝手に報道されない自由はあるはず。そして、有罪判決を受けるまでは、無罪推定と言って、犯罪を犯したとは扱われない権利があります。特に、今回のケースでは、地番まで報道されてしまった人は「不起訴」として、裁判にもかけられずに釈放されました。

無罪なのに逮捕されたとき、容疑者として名前、地番が報道されたら、そのあと不起訴、無罪になったとしても、今のネット社会ではずっと報道された事実は残ってしまいます。そうした時、名前や住所が残ってその場所で生活が続けられるでしょうか。

今回の件を受けて、一審の判決後、静岡新聞は、容疑者の住所地番は原則として表記しない方針に変更したようです。できるだけ個人の権利が適切に尊重される世の中になっていくといいですね。

以上です。

## 本日のゲスト・ビジター

ゲスト・ビジターはありませんでした。

## 幹事報告

## ■ 事務連絡 ■

\*ロータリーの友事務所より  
 ロータリーの友12月号 到着

## ■ 例会変更 ■

\*沼津ロータリークラブ  
 12月24日(金)→裁量休会<サインのみMU無し>  
 12月31日(金)→祝日週休会<サインのみMU無し>  
 \*沼津西ロータリークラブ  
 12月16日(木)→夜間例会<サインのみMU無し>  
 12月30日(木)→裁量休会<サインのみMU無し>

## ■ 週報到着 ■

沼津西ロータリークラブ

## スマイル報告

川口尚史 ロータリー財団へ。  
 川口尚史 米山奨学会へ。  
 安本 晋 ロータリー財団へ。  
 安本 晋 米山奨学会へ。  
 安本 晋 出席率 100%祝いありがとう。  
 菊地勝男 ロータリー財団へ。  
 菊地勝男 妻の誕生日祝いありがとう。  
 濱田清明 ロータリー財団へ。  
 濱田清明 米山奨学会  
 岩邊亜紀 ロータリー財団へ。  
 岩邊亜紀 米山奨学会へ。  
 齋藤悦生 ロータリー財団へ。  
 齋藤悦生 米山奨学会へ。  
 梅田欣一 ロータリー財団へ。  
 梅田欣一 米山奨学会へ。

## 半期報告



### 会長 安本 晋

今年の7月に会長に就任してから、約半年がたったところですが、この半年は本当にあつという間でもあり、ものすごく長かったようにも感じております。

7月の開始時点では、順調にスタートするかのように見えた例会運営で、7月の開始は会長の就任あいさつが行われ、その後、7月14日には太田ガバナー補佐をお迎えしてガバナー補佐の期首訪問が行われました。

そこで、太田ガバナー補佐がお話しされたことについては、ロータリーの未来の変革についてで、聞きながら大変驚きました。その内容を今日はおさらいしたいと思います

- ①地区やガバナーを廃止して地域(Region)とする
  - ・世界で20～40の地域を決める。草案では28地域が提案。日本は1地域である。
  - ・地域は文化、言語、ニーズとフォーカス、地理、効率性でグループ分けする。
  - ・各地域には3年任期のリージョナルカウンシルを置き、地域内のクラブの選挙で決定される。地域内のロータリークラブ、ローターアクトクラブのよき会員が立候補できる。つまり、日本のリージョナルカウンシルは1名となる。
  - ・地域で賦課金を徴収でき、日々の活動のための委員会を置くことができる。
- ②地域はさらに世界で1,500～1,600のセクションに分け、2年任期のセクションリーダーが選挙で決められる。日本では102のセクションを予定。
- ③グローバルボランティアカードを置く
  - ・リージョナルカウンシル、セクショナルリーダー、そしてクラブの要請により活動を支援する。ガバナンスの責任は持たない
- ④ゾーンは理事選出の単位として残され34ゾーン17人の理事は変えない。理事会は世界全体に対処し、地域はリージョナルカウンシルが対処する。

このような大きな変革が予定されているところ、2024年から試験的に行われ、2030年にはなるとのことです。

現在のRI理事以下、地域リーダー、補佐、ガバナー&補佐、地区委員長、幹事というシステムからの大きな変更であり、どのような変化をもたらすかわかりません。いずれにせよ、我々としては、前向きにこうした変化を捉えていきたいと思っております。

そして、7月末には各委員長から抱負を述べて戴きました。最も大きな課題と考えていたのは、奉仕活動の復活であり、その次が会員増強と考えております。

これについて、奉仕プロジェクト委員会からは前向きな言葉

があり、会員増強委員会からは純増5名とそれぞれ話をさせていただきました。

そうした前向きな活動に向かっていく中でも、コロナウィルスのいわゆる第5波が拡大していきました。こうした中で、ロータリークラブとしても例会の開催を継続することができず、他のクラブも続々と例会の開催を中止していく中で、大変残念ながら8月から例会の開催を休止することとなりました。

その後、9月に入ってから順調に感染者が減り、10月2日には全国の感染者が1500人程度まで減少してきたことから、例会再開のめどがつけました。

そこで、10月13日については、約3カ月ぶりの例会で、皆様の元気な顔を拝見することができました。その際、皆様から近況や状況についてお話をしてもらいましたが、皆様元気にお話ししてもらい、とてもうれしく思いました。

また、先月の11月10日には齋藤幹事から幹事の就任あいさつを戴きました。齋藤幹事の掲げられた「少人数が核となり多くの人々を巻き込んでいく活動」という理念は、ガバナーも非常に共感を示されており、ガバナー面接の際には、こうした活動方針こそが素晴らしいロータリー活動の理念にふさわしいというようなご指摘がありました。齋藤幹事には、日ごろからあらゆる面でサポートをしていただき、大変ありがたく、残りの半期もぜひよろしくお願ひしたい、との思いです。

さて、こうした奉仕活動がコロナの影響で困難になったのが、上半期のすべてと言えるかもしれません。柿田川清掃保全奉仕の延期にはじまり、グラウンドゴルフの中止、ふれあい広場の中止、と上半期に予定された活動としては、そのほとんどが中止になりました。

その中でも、10月23日に柿田川公園の清掃(ベンチのニス塗り)が行えたことは、大変良かったです。柿田川公園は私の近所で頻りに訪れていますが、コロナで遠方への移動が難しくなったこともあってか、かなり混雑しており、テーブルベンチやベンチは地域の方に頻りに利用されておりました。そうした地域の方に対して気持ちよく利用してもらえるような活動ができたことは大変うれしく思います。

これから下半期あたっては、IMや地区大会といったロータリーの公式行事が行われる予定になっています。RLIがズームで行われる、地区大会をyoutubeで配信するといったように、ロータリーはこうした行事の開催を柔軟に行っている印象があります。

ただ、従前のようなマスクなしでの大人数での会食を伴うような行事が今年度内に行われるかどうかは不透明であるだろうし、こうした行事の中で機会があれば、コロナ禍での例会や親睦などについて各クラブがどのような工夫をしているかについても聞いていきたいと思っております。

現在もオミクロン株という新たな感染力の強そうな変異株が発見されており、これが今後どうなるのか、第6波となるのかどうか、慎重に見ていかなければなりません。しかし、この半期(しかも実際に例会の開催はその半分程度)のなかで、皆さんが元気に過ごされていたのであれば、それでよししたいと思います。

それでは、次の半期もよろしくお願ひ致します。

## 次年度理事役員発表

2022－2023年度

会長 川口尚史 幹事 岩邊亜紀  
副会長 齋藤悦生 副幹事 安本 晋  
理事 菊地勝男 理事 梅田欣一  
理事 濱田清明 会計 梅田欣一  
クラブ研修リーダー 齋藤悦生

会員増強・退会防止委員会 委員長 濱田清明  
クラブ管理運営委員会 委員長 川口尚史  
奉仕プロジェクト委員会 委員長 梅田欣一  
クラブ広報委員会 委員長 齋藤悦生  
ロータリー財団委員会 委員長 菊地勝男

## 委員会報告

### 地区米山記念奨学委員会

副委員長 川口尚史

駿河ロータリークラブからの要請で、地区委員として卓話に行  
ってきます。



## 第7回 理事会報告

### ①1月の例会プログラムについて（例会は毎週水曜）

5日 12日の1819回と合併  
8日 1818、1819回 合併 新年夜間例会・年男卓話 18:30  
※第8回理事会 17:30  
19日 1820回 クラブ協議会(会員増強について)

### ②クリスマス家族例会について(12/12・日・18:00)

・場所 ロアジ  
・会費 5,000 円(ご家族無料)  
・催し物 ビンゴ(一家族一つ 3000 円程度の品を要準備)

### ③新年夜間例会について(1/12・水・18:30)

・場所 浜家(沼津市)  
・理事会 17:30 より開催  
・会費 5,000 円

## 会員慶事

【本人誕生日】

ありません。

【配偶者誕生日】

菊地美佐子 様

【結婚記念日】

ありません。



## ◆次回例会プログラム◆ 各委員会委員長半期報告

### 出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席数	出席率	今回迄の本年 度通算出席率
7名	7名	6名	85.71%	78.57%

出席： 菊地・梅田・濱田・川口・安本・齋藤 計6名

欠席： 岩邊 計1名

MU： 計0名